



朝 剣

朝剣通信188号 令和4年7月1日号

発行:朝霞市剣道連盟(市武道館)
http://asaken.suki-ari.net

編集:朝霞市剣道連盟事務局

住所:朝霞市本町1-12-3朝霞市立武道館

連絡先:平井 hirai.shigeoh@mbm.nifty.com

七段に昇段させていただきました。朝霞市剣道連盟 監事 青木暢之
前月号にて七段昇格の報告と御礼を書かせていただきましたが、再度朝剣の先生方に昇段の御礼を申し上げます。ありがとうございます。また、これから昇段審査を受けられる先生方へ審査の相手は初対面の方です、積極的に南部、四市の合同稽古に参加され普段稽古されていない先生方と稽古されることをお勧めします。

私が剣道を再開したのは約八年前の五十八歳のときです。母校上智大学体育会剣道部師範に倉澤正教士八段(日大卒、全日本学生剣道大会準優勝、第三回世界選手権米国チーム大將)が着任されご挨拶に伺った際に、私の同級生でライバルであった久保田教士八段(日大)再会がきっかけとなり約二十数年ぶりに剣道をしようと思ひ朝剣に入会いたしました。その際にただ闇雲に再開をするのではなく目標を決めようと思ひ、八段審査受験を一度でもすることを目指に定めました。入会時五段(米国で取得)でしたので、達成するには最低で十六年(六段取得後六年後に七段受験可能、七段取得後十年後に八段受験可能)七十六歳で目標が達成できるというものです。幸いに今回の昇段で七十七歳の受験可能となり概ね目標をクリアでき、これからの課題は受験まで健康で剣道を続けていられることです。

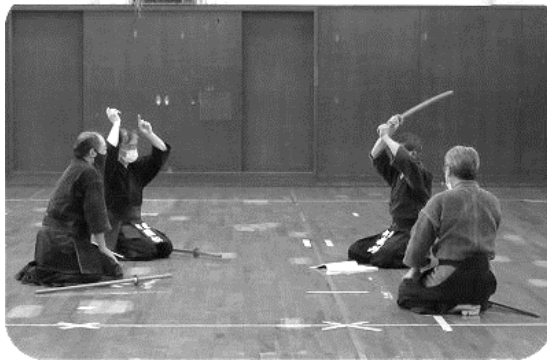
振り返りますと、私は小学四年生から剣道を始め高校卒業まで上野警察(台東区)の道場に通いました。(その間、警察道場が機動隊員の宿舎になりました。下谷小学校の講堂に移動)当時の先生方を思い出しますと、後に範士八段に三名、教士八段に五名、教士七段は多数という素晴らしい先生方にご指導いただきました。各先生方の個々の思ひ出はいくつもありませんが、中でも倉澤吉一範士八段、岡憲次郎範士八段、荒井亀太郎教士七段(いずれも故人)の先生方のご指導は記憶に残っております。大学では大坪信治範士八段(故人)にご指導いただき、大坪師範からは剣道だけではなく社会人としての振舞いお酒の飲み方などもご指導いただきました。現在の私の技量は先生方の技量の足元にも及びませんが、先生方のご指導が現在の私の剣道の基礎となっております。私もこれから元立つ機会が増えると思ひますが、皆さんの記憶に残る剣道ができるよう努めていきます。今後ともよろしく願ひいたします。

朝霞剣連主催 剣道形講習会(5月29日市武道館)

五月二十九日、朝霞市剣道連盟主催による剣道形講習会を実施しました。
指導は新井先生が担当されました。出席者は少数でしたが一挙動ごとに確認を行うなど形研究会さながらの密度の濃い講習会となりました。

一挙動ずつを座学にて確認

形講習会の様子



大会結果

5月29日阿部杯記念争奪剣道大会(所沢市民武道館)
【団体】
先鋒:湯本咲仁 次鋒:鈴木裕大 中堅:川村亜藍
副将:鳴川陽南太 大将:山崎 錠 補員:高橋大空
(予選リーグ)
対 春日部剣友会 4敗1分で負け●
対 若葉剣友会 1勝3敗1分で負け● 予選リーグ敗退

【小学生個人男子】関 真士 1回戦負け
【小学生個人女子】本橋真侑 2回戦進出
【中学生個人男子】小山叶馬 2回戦進出

監督:宮城由美 審判員:小山哲広、吉岡康範
6月6日埼玉県高齢者剣道大会(県立武道館)
出場:青木暢之、上村紳一郎
6月6日埼玉県女子剣道選手権大会(県立武道館)
出場:高橋佳奈

事務局からのお知らせ

- 暑中稽古
①6/26(日)、7/3(日)市武道館
・9:00~10:15 初級、10:30~11:45 中・上級
・12:00~13:30 一般
②6/27(月)~7/2(土)朝霞三中蜂武館
・18:30~19:30 初級、19:30~20:30 中・上級・一般
③7/5(火)、7/7(木)市武道館
・18:30~19:30 初級、19:30~20:30 中・上級・一般
- 夏季合宿
・7/16(土)~18(月)朝霞市総合体育館を使用して通い合宿として実施します。詳細は後日お知らせします
- 7/10(日)朝霞地区剣道大会(朝霞市総合体育館)
・予定通り開催(役員・係員8時、選手8時半集合)
- 7/23(土)全日本少年少女武道(剣道)錬成大会
- 7/24(日)暑中稽古納会試合・胴争奪試合(市武道館)

昇級審査結果

6月2日一級(市武道館)川村亜藍、鳴川陽南太、山崎 錠

新入会員

阿蕨寿杏(あそじゅあん) 大学生、三段



今後、徐々に試合も増えてきます。以下内容に十分にご留意ください。
・稽古や試合の前には、準備運動など十分に身体を慣らして臨んでください。また水分補給も忘れずに。
・相手に怪我をさせないように竹刀の手入れを怠りなく行ってください。